

事業番号	213
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	アダプトプログラム推進事業							担当部	環境交通部						
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	廃棄物対策課							
	事業期間	平成17年度			～	平成30年度以降		担当係	環境美化係							
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		6 ごみ対策		3 地域の環境美化を推進する									
		副目的														
	予算区分	款	2		項	8		目	1		大	5		中	2	
	根拠法令・個別計画	小牧市公共施設アダプトプログラム実施要綱														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	環境美化に対する市民意識の高揚を図り、市民、事業者、行政との協働による環境美化を推進する。														
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容 里親に清掃道具の提供やボランティア保険の加入などの支援を行った。また、活動状況の訪問調査を行い、市の広報やホームページ等で活動を紹介した。 平成24年度は、新たに2団体726人増加した。</p> <p>【24年度直接経費の内訳】 アダプトプログラム活動を支援するための経費 需用費(81千円) 役務費(298千円)</p> <p>○25年度実施内容 24年度と同様に実施する。</p> <p>【25年度直接経費の内訳】 アダプトプログラム活動を支援するための経費 需用費(80千円) 役務費(330千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	258	387	379	410	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	533	533	533	533
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	791	920	912	943	
対前年比		%		116.3	99.1	103.3		
財源	一般財源	千円	791	920	912	943		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	アダプトプログラム保険加入者数	人	目標	1,100	1,200	1,200
実績				853	938	1,356	
アダプトプログラム登録団体数		団体	目標	40	43	46	48
			実績	40	43	45	
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	アダプトプログラム登録者数	人	目標	1,200	1,300	1,400	2,300
実績			1,331	1,410	2,136		
目標							
実績							

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	市広報やホームページで、団体等の活動状況を紹介するなどして、アダプトプログラム登録団体数や登録者数は増加した。これにより、市民、事業者、行政との協働による環境美化の推進を図った。				
		事業実施における課題	アダプトプログラム登録団体の増加を図り、団体等の活動を活性化させる必要がある。活性化のための指標として、各団体の活動件数や活動者数の把握に努める。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	市民、事業者、行政との協働による環境美化の推進を図らないと、行政ですべて事業を実施することとなれば、人件費等の事業経費が増大する。				
		平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	アダプトプログラム登録団体の増加と活性化を図るため、市広報やホームページで事業についての情報発信をする。 また、活動の活性化には、各団体の活動実態を分析したうえ策を講じる必要があるため、各団体の活動回数や内容、参加人数などを把握する。			
		平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
		判定理由	アダプトプログラムの団体数や登録者数は増加しているが、引き続き環境美化を推進するため、市民活動の輪が広がるよう、根気良く事業を継続する必要があると判断する。				
		26年度以降の改善案	アダプトプログラムの団体数や登録者数を増やし、その活動を活性化させるには、事業についての情報発信が重要になるので、ごみ散乱防止市民行動の日など環境美化活動の事業での情報を、市広報やホームページへ積極的に登載するなど情報発信に努める。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
		維持